

会報 ^{2014.3} 第61号

● 特 集 時代を彩った先輩



福井県立藤島高等学校同窓会

一般社団法人 明 新 会

明新会報

2014. 3 第 61 号



明新会報第61号 目 次

| 追 | | | | | | | | | | 会 | 特 | ば | 通 | | ご | (力 |
|-------------|---------------|--------------|--------------|---------------|--------------|------------|-------------|---------------|---------------|---------------|------------------|--------------|---------------------|----|--------|------------|
| 悼 | | | | | | | | | | 員 | | 【ようこそ先輩】 | 常 | | あ い | 【カラーグラビア】 |
| | | | | | | | | | | 寄 | | を 先 | 総 | | いさつ | ラビ |
| 文 | | | | | | | | | | 稿 | 集 | 輩 | 会 | | 2 | ヹ |
| 北川昭治 前会長を偲ぶ | 二十四歳からの渡英… 松成 | 湯の山温泉の女将と… 伊 | バブル〝半沢〟世代… 田 | 漢方薬に携わって三十年 越 | 足羽三山文化協議会 斎藤 | 福井と古伊万里 竹川 | 人権擁護委員とは 藤井 | 科学者・技術者の想… 黒田 | 明確な文化観、国家… 渡辺 | 「曲水の宴」に歌人… 飯田 | 時代を彩った先輩 ―福井中学校・ | 「第15回ようこそ先輩」 | 「第62回一般社団法人明新会通常総会」 | | | |
| | | 伊藤寿美子 | 田中 | 越嶋実知代 | | Ш | | | | | 开 中 学 | 〈講師〉 | 新会 | | | |
| | 由美 | 美 子 | 文恵 | 知代 | 成也 | 忍 | 健夫 | 壽二 | 孝 雄 | 芳蘭 | · | | 五通 | | | |
| | 53 | 50 | 48 | 45 | 43 | 41 | 39 | 36 | 33 | 30 | 福井高等女学校編 | 昭和六十一年卒業生 | | | | |
| | 友に感謝 | 自分に出来ることを | 高を括らず | 水害の紙資料塩水で保存 | 長い時間・短い | ステイヤング… | 日本の生き様 | 出前寄席三百席楽し… | 人生は夢の枕… | 藤島高校が消えるとき? | 久学校編— | 年卒業生 | … 実行委員長 | 校長 | 理事長 | |
| : 栗 | | とを | | で保左 | 時間 | | | 楽し | | ときっ | | | 黒 | 堀 | 田 | |
| 田 | 中 | 高 | 横 | | 多 | 村 | 服 | | 西 | | | | Ш | | 中 | |
| 幸 | 中出 | 高橋 | 横山 | 江前 | 多田 | 村田 | 服部 | 竹中 | 西山 | 坪川 | | | 俊 | 康 | 廣 | |
| 雄 | 賀之 | 則枝 | 康浩 | 敏晴 | 和 博 | 定三 | 則夫 | 史子 | 隆崖 | 常春 | | į | 之 | 子 | 昌 | |
| 56 | 54 | 52 | 49 | 47 | 44 | 42 | 40 | 37 | 34 | 32 | 22 | 14 | 10 | 9 | 8 | |

~{\$\$\$\arrays\$\

\$\$\$\ac\3\$\ac\ac\3\$\ac\3\$\ac\3\$\ac\3\$\ac\3\$\ac\3\$\ac\3\$\ac\3\$\ac\3\$\ac\3\$\ac\ac\3\$\ac\4\$\ac\3\$\ac\4\$\ac

| | ※明新会各 | ※叙勲受章者 | ※ 会員名簿発 | ※寄贈(図書 | | | | 【事務局だより】 | | | | 【母校だより】 | | 【支部だより】 | | | 【同窓会だより】 |
|------|----------------|-------------------------|--|-------------|-----------------------|------------------|--------------------|----------------|--------------------|--------------------|-----------------------|---------|----------------------------|-------------------------|---------------------------|-----------------------------|----------------------------------|
| 編集後記 | ※明新会各支部の連絡先 94 | -者 94 ※継続会費(5年ごと)のお願い … | ※会員名簿発行のお知らせとご協力のお願い … 93 ※住所変更に関するご案内 | (図書・掛け軸・絵画) | 第63回一般社団法人明新会通常総会のご案内 | 平成25年度役員名列・代議員名列 | 第三回明新会代議員総会・理事会議事録 | 第62回明新会通常総会議事録 | 平成24年度明新会入会式・生徒表彰者 | 平成25年度部活動・各教科の主な記録 | 卒業生の進路状況 本校教諭 小野田 隆 一 | 藤高トピックス | 中京明新会 66 福井県庁支部 68 福井市役所支部 | 東京明新会 60 近畿明新会 62 金沢明新会 | 真夏の熱い魂の同窓会 昭和62年卒 水 島 秀 晃 | 「還暦同窓会」に参加して 昭和47年卒 吉 田 由紀子 | ミナパー会(ゴルフ同好会)について 昭和39年卒 小 島 峰 雄 |
| 96 | | 94 | 93 | 82 | 95 | 82 | 80 | 79 | 78 | 74 | 72 | 70 | 69 | 64 | 59 | 58 | 57 |

~;;;;~-;;;;~-;;;;~-;;;;~-;;;;~-;;;;~-;;;;~-;;;;~-;;;;~-;;;;~-;;;;;~-;;;;;~-;;;;



村

おおむら たくいち

❖ 鉄道官僚·実業家 ❖明治二二年卒

〇年、 明治二

一九年、

札幌農学校工科卒。

南満州鉄道株式会社副総裁、

昭和 昭和

て抑留され、

海竜県で非業の死をとげた。

に南満州鉄道総裁であったことを罪状とし

❖一八七二年(明治五)~一九四六年(昭和二二)

年)。

退任後しばらく著述に専念するが、

満州国大陸科学院長。

同年

満州の通化で中国共産党軍

四

年、

南満州鉄道株式会社総裁

(一八八

ウィリアム・グリフィ

ス

福井藩校明新館の理科学教師

昭和二〇年、 一一月一七日、

おかだ けいすけ

峃 H 啓

◆ 軍人·政治家 ❖明治一七年卒 ❖一八六八年(明治元)~一九五二年(昭和二七)

した。 貧で通した。勲 洋戦争に反対、 松尾伝蔵を失い、その責任をとって総辞職 相官邸を襲った二・二六事件で高橋是清と かなっていた。青年将校が中心となって首 と二人で官邸に住み込み食事は弁当でま めて貧しかった為、妹の夫、松尾伝蔵大佐 度目の夫人に先立たれ独身で生活はきわ 第三一代内閣総理大臣に就任。 連合艦隊司令長官、 福井市手寄町生まれ。 海軍兵学校卒。 傷心のなか軍備縮小に努め、 日清・日露戦争に従軍し、 和平に尽力した。生涯清 等旭日桐花大綬章受章 海軍大臣。 海軍大学水雷術專科 福中第一回卒業 このとき一 海軍大将、 昭和九年 太平

みたむら じんざぶろう

H 村 甚 郎

❖ 実業家·政治家 ❖明治二二年卒 一八六七年(慶応三)~ 一九三四年(昭和九)

❖軍人 ❖明治二四年卒 •

男として生まれる。東京専門学校 稲田大学)で政治学を学ぶ。 武生町 (現越前市) の打刃物問屋の長

務め、 とから「近代武生の父」と呼ばれた。また、 二期当選。一八年間無報酬で武生町長を 文化人を自宅に招き句会を催していた。 書 道南越線) 大正元年武岡軽便鉄道株式会社 画 福井県会議員を歴任後、 謡曲、 武生町の近代化に一生を捧げたこ を設立した。 俳諧に通じ「黄雲」と号し、 衆議院議員に (福井鉄

任信用組合武生金庫 明治三二年福井新聞、 (現武生信用金庫) 昭和二年有限責 (現早

まつお でんぞう

❖一八七二年(明治五)~一九三六年(昭和一一) 尾 云 威

わりになる覚悟であったという。 私が岡田です」と応えたという証言もあ 反乱軍の襲撃に対し、 なり殉職。 首相官邸にて義兄岡田啓介の身代わりと 臣秘書官を拝命。二・二六事件に遭遇し、 九年妻の兄である岡田啓介の内閣総理 兵五九連隊長としてシベリア出兵。 福井市手寄上町生まれ。 日頃から万一の場合には岡田の身代 容貌が岡田と似ていたため、 松尾が「いかにも 陸軍大佐 昭 和

3 2 1 5 4

H 下部太郎

、福井藩校第一号の留学生

藩校(明新館、明道館) 時代の先覚者

由

到和公正

五箇条の御誓文の起草者)

橋本左内

(幕末の先覚者)

松平春嶽

福井藩一六代藩主)